

第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール

**優 秀 賞**

実践報告部門

**お金の三つの役割の学習**

京都府・京都教育大学附属桃山小学校 教諭 池田 恭浩

**知るぽると**  
www.shiruporuto.jp

© 金融広報中央委員会 2012

「金融」の定義として、「お金を融通すること」とよく言われる。つまり、「金融」は「お金」ありきなのである。そのため、金融教育を行う上で「お金」とは何なのかを認識する必要がある。そこで、「お金」とは何なのかを認識するために、お金の三つの役割を学習する必要があると考えられる。お金の三つの役割とは、「交換を助ける役割」「価値を計る役割」「価値を貯める役割」である。この三つの役割が理解できれば、「なぜ、買い物をするときにお金を払うのか」「なぜ、お金を稼ぐ必要があるのか」「なぜ、お金を貯めるのか」といった疑問に答えることができ、「お金」とは何なのかを認識することにつながる。また、金融教育を行う上での基礎基本にもなる。

そこで、本論では小学校3年生の社会科での、「お金の三つの役割の学習」の授業実践について報告する。なお本論は、平成23年度の私の修士論文『『お金』のもたらす学習効果——『お金の役割』を採り入れた小学校社会科——』より引用している。

## 1. 授業実践の内容

今回の授業は、小学校学習指導要領解説社会編の第3学年及び第4学年の内容「(2)地域の生産や販売に携わっている人々の働き」の単元で実施した(資料1)。

今回の授業実践の内容については、授業記録(授業の内容を録音しておき、のちに書き起こしたもの)、板書記録、児童のノート、プレゼンテーションソフトで作成した教材をもとに分析を行った。

|  |
|--|
| 単元名 「見つけたよ、まちの人たちの仕事」  |
| 指導計画(実施)<br>「見つけたよ、まちの人たちの仕事」(全34時間)   |
| 第1次 「仕事」って何ですか?(11時間)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事」とは、何のために、どのようなことをするものなのかを考える (1時間)</li> <li>・「仕事」とつながりのあるお金の役割を考える (1時間)</li> <li>・お金のない時代はどのようにして欲しい物を手に入れていたのか考える (1時間)</li> <li>・物々交換の問題点を考える (2時間)</li> <li>・物々交換を円滑に行うための物(みんなが欲しがった物)について考える (2時間)</li> <li>・交換するための物としての石や貝の問題点と金貨・銀貨・銅貨のいいところ、問題点を考える (1時間)</li> <li>・今のお金について考える (2時間)</li> <li>・これまでの振り返りをして、「仕事」とお金のつながりを確認する (1時間)</li> </ul> |
| 第2次 「つくる仕事」について考えよう!(13時間)   |
| 第3次 「売る仕事」について考えよう!(10時間)  |

### 第1次 「仕事」って何ですか?

#### ・「仕事」とは、何のために、どのようなことをするものなのかを考える(1/11)

最初に、「『仕事』って何ですか?」という問いを児童に投げかけた。その結果、半数近くの児童がお金という言葉を使って、「仕事」が何なのかを説明していた。つまり、多くの児童が「仕事」とお金にはつながりがあることを指摘していたのである。しかし、お金に対する認識がしっかりとしていないために、授業の中での話し合いはなかなか深まらなかった。そこで、次時からお金について考えることになった。

#### ・「仕事」とつながりがあるお金の役割を考える(2/11)

授業の最初に「お金の役割って何ですか?」という発問をしたが、発問の内容があまりにも抽象的で児童を混乱させてしまった。そのために授業の中での話し合いが、なかなか焦点が絞れない話し合いになってしまった。このようになってしまった原因は、「役割」という言葉にこだわってしまったためであった。「お金の役割」の意味を児童が理解できなかったのである。最後は、お金は何かを「買う」ときに使う物だということに話が落ち着いたが、このことから最初の発問は「お金はどんなときに使いますか?」で充分だったと考えられる。

・お金のない時代はどのようにして欲しい物を手に入れていたのか考える（3／11）

お金のない時代のイメージをどのようにしてつくるかがひとつの課題であったが、今回は「縄文時代の想像図」を活用した。その結果、話し合いの中でおおむね教師が予想した児童の反応が見られたので、「縄文時代の想像図」を活用したことは適切であったと考えられる。

・物々交換の問題点を考える（4／11）

この授業では、ある児童が物々交換の例として「宝石とリンゴの交換」を挙げた。これは、アダム・スミスが「ダイヤモンドと水」の例を挙げて、交換価値と使用価値の両方を使ってももの価値を表すのが困難であることを示した例にとっても近かった。この「宝石とリンゴの交換」の例が挙げられたおかげで、物々交換の問題点について議論を深めることができた。また、「価値」という言葉も児童から出てきて、さらに議論が深まる要因となった。

・物々交換の問題点を考える（5／11）

この授業から、前時までに話し合ったことの要点をプレゼンテーションソフトを使ってイメージ化をして、児童に提示することにした（資料2）。なぜなら、前時では「宝石とリンゴの交換」の話になり、議論が深まったのは良かったのであるが、議論についてくることができない児童が見られるようになったからである。プレゼンテーションソフトを使ってイメージ化をして振り返りを行うことで、議論の内容が理解できていなかった児童も、理解できるようになった。そして、この後の授業でも話し合ったことの要点を、プレゼンテーションソフトを使ってイメージ化をして振り返りを行った結果、単元全体のつながりを確認しながら授業を進めることができた。

そして、この授業では物々交換の問題点を整理したが、実は物々交換の問題点が今のお金の三つの役割に直結していることに教師自身が気づかされた。

・物々交換を円滑に行うための物（みんなが欲しがった物）について考える（6・7／11）

当初の計画では、物々交換を円滑に行うための物（みんなが欲しがった物）について考える時に、食べ物と物は区別しないで一緒に考えるようにしていた。この授業（6／11）では、食べ物と物がある程度わけて発表ができるようにしていたので大きな混乱はなかった。しかし、次時（7／11）では、食べ物と物は「ダイヤモンドと水」と同様に、生きるために直接必要かどうかという観点から見ると、全く違うものであるということに授業をしている最中に気づかされた。そのために、物々交換を円滑に行うための物（みんなが欲しがった物）としての食べ物と物を一緒に考えることが困難になった。そこで、物々交換を円滑に行うための物（みんなが欲しがった物）が、どうして食べ物から物に替わったのかをじっくりと考えることにした。当初の計画では見落としていた大きな点であった。

・交換するための物としての石や貝の問題点と金貨・銀貨・銅貨のいいところ、問題点を考える（8／11）

この授業から、交換するための物について考えることになったが、結果的には児童には、交換するものとしての石や貝の問題点や金貨・銀貨・銅貨のいいところ、問題点を考えることは難しかったようである。なぜなら、金・銀・銅などの金属が熱で溶けて冷やすと固まるので加工がしやすいといった知識がなかったためである。しかし、教師がそれらについて説明をすれば理解することはできた。

・今のお金について考える（9・10／11）

前時と同様に、今のお金について考えることは児童には難しかったようである。今のお金について児童が一番興味を示したのが、偽造防止の方法についてであった。これについては、テレビなどで紹介されていたことを児童が知っていたからである。しかし、紙のお金の価値や成立過程、両替商、預り証、補助貨幣、国立印刷局・造幣局、日本銀行、日本銀行券、ハイパーインフレなどの、小学校3年生には理解が難しいと考えていたことについては、教師の説明で理解をすることができていた。このことについては、これまでに学習したことをもとに理解をしたと考えられる。

・これまでの振り返りをして、「仕事」とお金のつながりを確認する（11／11）

プレゼンテーションソフトで作成した教材で、これまでの授業の振り返りを行った。そして、物々交換を行うまでは基本的には自給自足の生活をしており、物々交換をするようになってからは分業（役割分担）をするようになったこと、そして物々交換を円滑に行うための道具が今のお金で分業が今の「仕事」であることを確認した。

## 2. 授業実践の成果と課題

今回の授業実践の成果として挙げられるのは、小学校3年生の発達段階でお金の三つの役割について考えられることがわかったことである。課題としては、授業時数が当初の計画では最大で4時間であったが、実際には11時間を費やすことになった。もちろん、今回は様々なお金に関連する事象に、児童がどのような考えを示すのかを確認しながら授業を進めたこともあるが、やはり今後、この授業の普及を考えるならば、授業時数を短縮しなければならない。

そこで、これらの課題の解決に向けて今回の授業実践から見えてきた、「お金の三つの役割」を学習するためのキーワードを示しておく。それは、「物々交換」である。お金のない時代には欲しい物を手に入れるために物々交換をしていた。そして、物々交換の問題点を解決し続けた結果、今のお金ができたのである。つまり、物々交換の問題点を考えることが今のお金について考えることにつながるのである。そこで、小学校3年生では物々交換の問題点を考えることが最重要課題になる。そこに的を絞れば、授業時数の短縮は可能である。

最後に、物々交換の問題点と「お金の三つの役割」のつながりを示しておく。

問題点①交換する相手がなかなか見つからない

→何回か交換を繰り返す→みんなが欲しがるものと交換しておく→米、家畜、塩（食べ物）→石、貝、布（物）

→金貨・銀貨・銅貨→紙のお金

⇒「交換を助ける役割」

問題点②どんな物とどれくらいの量と交換すればいいかわかりにくい

→価値の問題（使うための価値と交換するための価値、多すぎても少なすぎてもいけない、交換するための価値をそろえる）

⇒「価値を計る役割」

問題点③交換するものが腐ってしまう

→食べ物・飲み物（水）がないと人間は生きていけない→食べ物・飲み物（水）が確保できるようになれば物がほしくなる（物は腐らない、珍しい物が価値を持つようになる）

⇒「価値を貯める役割」

\*三つの問題点とそれに関連する事象は深くかかわっている。

\*交換する物は、すべて自然からできている。

資料1 「お金の三つの役割の学習」指導計画書

<全4時間>

【第1場面】「交換を助ける役割」の学習

| 区分  | ◎学習活動と内容<br>(○予想される児童の反応)   | 指導上の留意点・支援・評価<br>(教師の活動)   | 準備物<br>資料など          |
|-----|---|--|----------------------|
| 導入  | ◎お金の役割を考える。<br>○欲しいものを買うときに使うもの。<br>○電車に乗るときに使うもの。<br>○塾に行くときに使うもの。                                   | ・日常生活から考えることを助言する。   | ・自給自足の時代をイメージできる図や画像 |
| 展開  | ◎お金がない時代は、どうやって欲しい物を手に入れたのかを考える。<br>○自分でつくっていた。<br>○奪っていた。<br>○誰かにお願いしてもらっていた。<br>○自分の持っているものと交換していた。 | ・お金は人間がつくったものである(最初からあったわけではない)こと、人間より先に地球にあったのは自然であることに気づけるよう助言する。<br>・生きるために食料が重要であることに気づけるよう助言する。 |                      |
| まとめ | ◎お金がない時代は物々交換をして、欲しいものを手に入っていたことを知る。<br>○交換したらけんかにならない。<br>○友達とやったことがある。                              | ・「買う」には交換するという意味があることや、分業の話(職業、時間の余裕、自給自足)を伝える。  |                      |

【第2場面】「交換を助ける役割」(「価値を貯める役割」)の学習

| 区分  | ◎学習活動と内容<br>(○予想される児童の反応)   | 指導上の留意点・支援・評価<br>(教師の活動)   | 準備物<br>資料など           |
|-----|---|--|-----------------------|
| 導入  | ◎物々交換の問題点を考える。<br>○交換してくれる人を探さなくてはならない。<br>○自分の欲しいものを持っている人がいなかったら困る。<br>○自分が持っているものを欲しがると人がいなかったら困る。                     | ・なぜ、今は物々交換がほとんど行われていないかを考えるよう助言する。   | ・貨幣の代わりに使われていたものの図や画像 |
| 展開  | ◎物々交換の問題点を解決する方法を考える。<br>○交換して欲しいものがある人が集まる場所と時間を決める。<br>○相手が欲しいものを聞いておいて、準備をする。<br>○自分が欲しいものと自分が交換してもいいと思っているものをみんなに伝える。 | ・買い物をするときのことを思い起こすよう助言する。  |                       |
| まとめ | ◎みんなが交換して欲しがると交換しておくことで問題を解決したことを知る。<br>○昔の人はかしこいな。<br>○私もきれいな石や貝なら欲しい。<br>○確かにお米は長持ちする。                                  | ・米、家畜、石、貝などが使われていたことやそれらの共通点(保存できるもの、珍しいもの、きれいなもの)を考えられるようにする。<br>・必要に応じて「市」の話もする。 |                       |

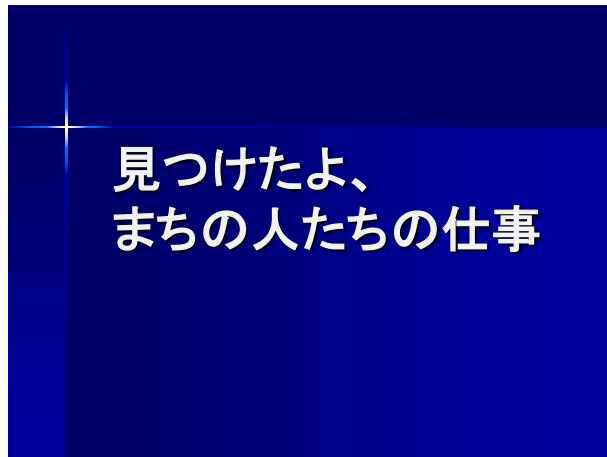
【第3場面】「価値を計る役割」「価値を貯める役割」の学習

| 区分  | ◎学習活動と内容<br>(○予想される児童の反応)  | 指導上の留意点・支援・評価<br>(教師の活動)   | 準備物<br>資料など         |
|-----|--|--|---------------------|
| 導入  | ◎米、家畜、石、貝などの問題点（交換するものとして）を考える。<br>○かなりの時間がたてば、腐ったり死んでしまったりする（ねうちがなくなる）。<br>○同じものがたくさん見つからないから、たくさん交換できない。<br>○同じものが見つげにくいから、欲しがらない人もいるかもしれない。 | ・なぜ、今は米、家畜、石、貝などを使っての交換がほとんど行われていないかを考えるよう助言する。                        |                     |
| 展開  | ◎米、家畜、石、貝などの問題点（交換するものとして）を解決する方法を考える。<br>○がんばってたくさん見つける。<br>○みんなが欲しがらる石や貝がどんなものかを調べておく。<br>○同じものをつくれればいい。<br>石、貝⇒削って同じ大きさにする。                 | ・解決のヒントが今のお金（硬貨）にあることを助言する。  |                     |
| まとめ | ◎金貨・銀貨・銅貨をつかって問題を解決したことを知る。<br>○だから、金や銀や銅でお金をつくったんだ。<br>○金貨・銀貨・銅貨なら欲しい。  | ・金貨・銀貨・銅貨が選ばれた理由（腐らない、珍しい、きれい、熱を加えると加工しやすい⇒同じものをつくることのできる）を考えられるようにする。 | ・金貨・銀貨・銅貨の実物または図や画像 |

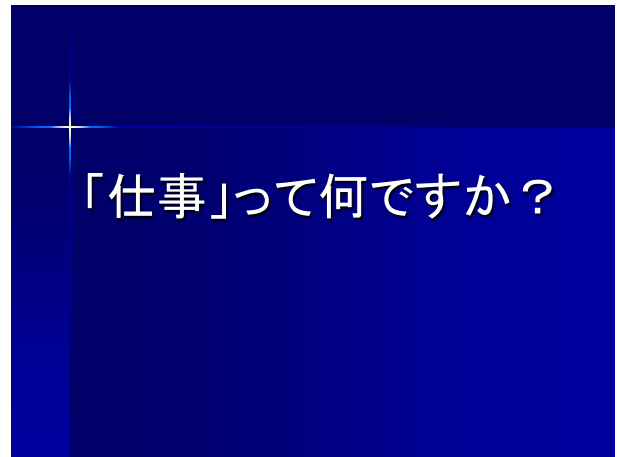
【第4場面】「交換を助ける役割」「価値を計る役割」「価値を貯める役割」の学習

| 区分  | ◎学習活動と内容<br>(○予想される児童の反応)  | 指導上の留意点・支援・評価<br>(教師の活動)   | 準備物<br>資料など                 |
|-----|--|--|-----------------------------|
| 導入  | ◎金貨・銀貨・銅貨の問題点を考える。<br>○金・銀・銅はたくさん取れない。<br>○ニセモノをつくる人がいたら困る。<br>○たくさんだと運ぶのが大変。  | ・金貨・銀貨・銅貨と今のお金を比較することで問題点を考えるよう助言する。   |                             |
| 展開  | ◎金貨・銀貨・銅貨の問題点を解決する方法を考える。<br>○金・銀・銅以外のたくさん取れるものでつくれればいい。<br>○つくるところを決める。<br>○誰かに運んでもらったらいい。  | ・解決のヒントが今のお金（紙幣）にあることを助言する。  |                             |
| まとめ | ◎紙幣をつくる、お金をつくる場所を決めることで問題を解決したことを知る（⇒今のお金ができる）。<br>○お金が紙できて理由がわかった。<br>○今のお金ができるまでには、たくさん苦勞があったことがわかった。<br><br>◎お金の三つの役割を考える。<br>○欲しいものとの交換をやりやすくする。<br>○腐らない（ねうちがなくなる）。<br>○同じものがたくさんつくれる（ねうちが同じ）。<br><br>◎お金の三つの役割を知る。<br>・交換を助ける、価値を計る、価値を貯める。<br><br>◎今のお金の問題点を考える。<br>○お金をたくさんつくれればどうなるのか。<br>○それでもニセモノがつくられたらどうなるのか。<br>○お金があっても交換するものがなければどうなるのか。 | ・必要に応じて、兌換券（兌換紙幣）、両替商、藩札、日本銀行、金本位制の話をする。<br><br>・各場面での問題にヒントがあることを助言する。<br><br>・問題点の解決のために、現在も工夫や努力が続けられていることを伝える。 | ・過去及び現在の紙幣の実物または図や画像（取扱い注意） |

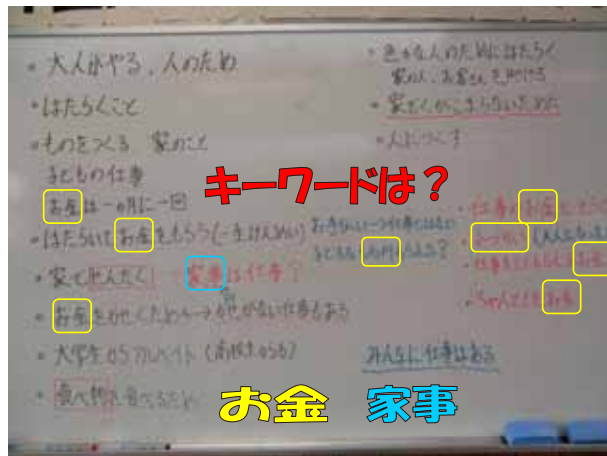
資料2 見つけたよ、まちの人たちの仕事



1



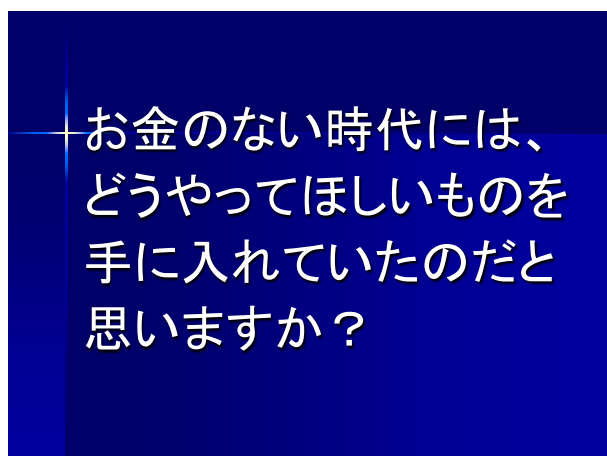
2



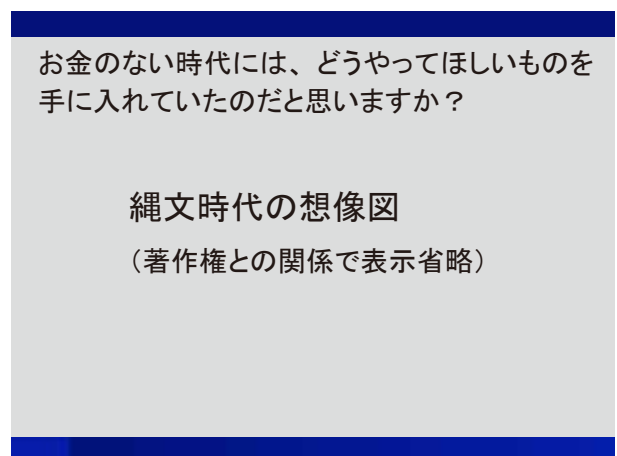
3



4



5



6

物々交換(ぶつぶつこうかん)  
をしていた。

7

物々交換(ぶつぶつこうかん)  
の問題点は何ですか？

8

物々交換(ぶつぶつこうかん)

りんごがほしいなあ。だれかほう石とこうかんしてくれないかな。

ほう石がほしいなあ。だれかりんごとこうかんしてくれないかな。

9

物々交換(ぶつぶつこうかん)

ほう石とりんごをこうかんしてくれないかな。

いいよ。わたしはりんごとほう石をこうかんしてほしかったの。

10

物々交換(ぶつぶつこうかん)

やった～！ありがとう！

やった～！ありがとう！

11

物々交換(ぶつぶつこうかん)  
しかし...

りんごがほしいなあ。ほう石とりんごをこうかんしてくれないかな。

ごめんなさい。わたしはいちごしか持っていないの。

ざんねん...

12



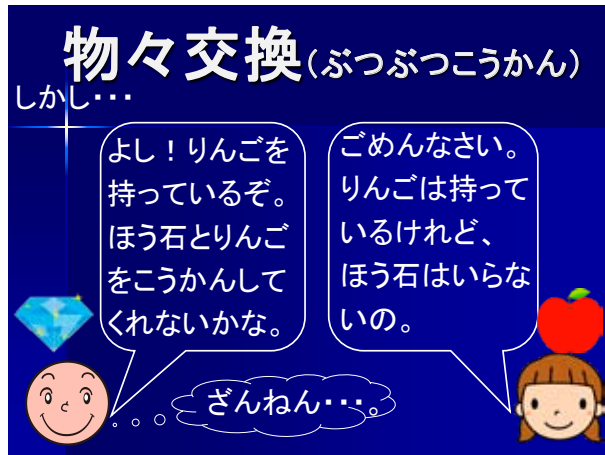
## 物々交換(ぶつぶつこうかん)

しかし...

よし！りんごを持っているぞ。ほう石とりんごをこうかんしてくれないかな。

ごめんなさい。りんごは持っているけれど、ほう石はいらないの。

ざんねん...



13



## 物々交換(ぶつぶつこうかん)の問題点

①交換できる相手がなかなか見つからない。

14

## 価値(かち)



「そのもののすごさ」  
どれだけ役に立つかということ。ねうち。


と


☆どちらの方が価値がありますか？

15

## 価値(かち)


と


- ・今は、お金があるのでほう石の方が価値がある。⇒ほう石の方がねだんが高い。
- ・むかしは、りんごの方が価値がある。⇒食べ物がないと生きていけない。

ほう石は、とるのが大へん。ただの石ころ。

☆とくをする人とそんをする人がいる。  
⇒お金がなければ、とくもそんもない？

16

## 物々交換(ぶつぶつこうかん)の問題点

①交換できる相手がなかなか見つからない。

②交換するものの価値の問題。

③交換するものがくさってしまう。  
(食べ物がないと生きていけない)

17

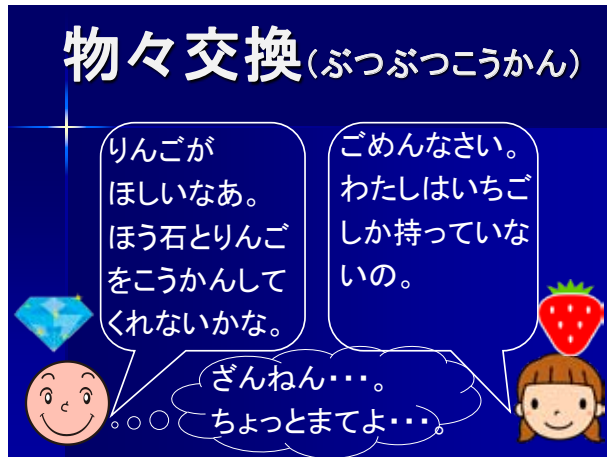
## 物々交換(ぶつぶつこうかん)の問題点

①交換できる相手がなかなか見つからない。⇒市(いち)・市場(いちば)

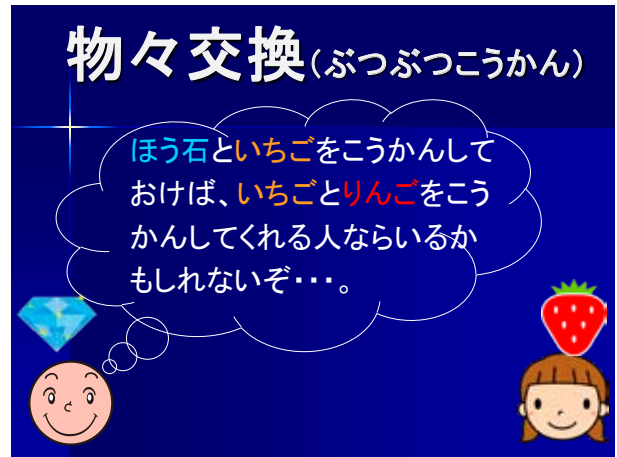
②交換するものの価値の問題。

③交換するものがくさってしまう。  
(食べ物がないと生きていけない)

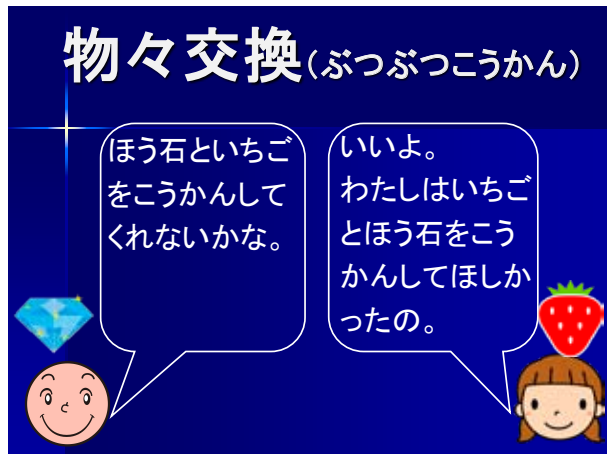
18



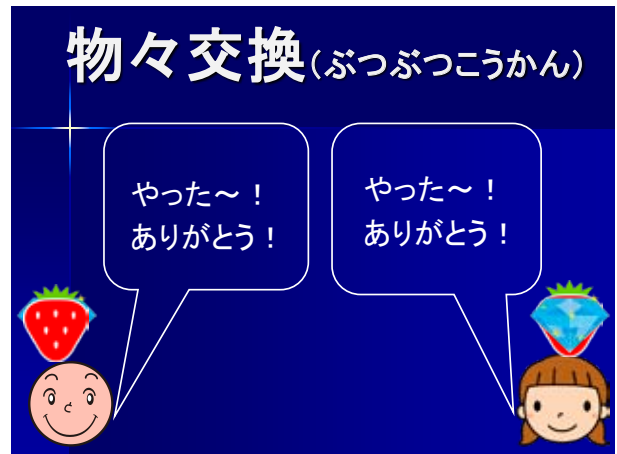
19



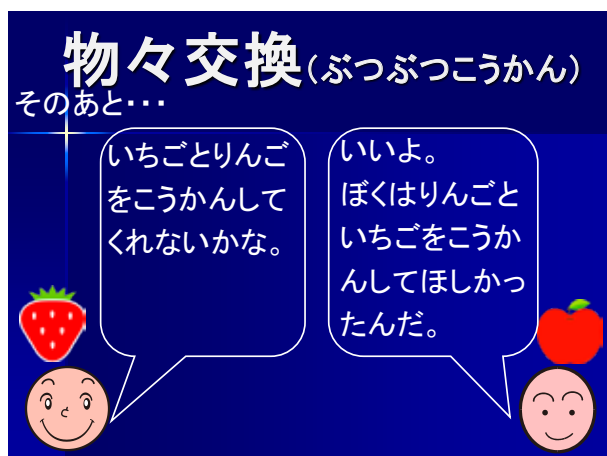
20



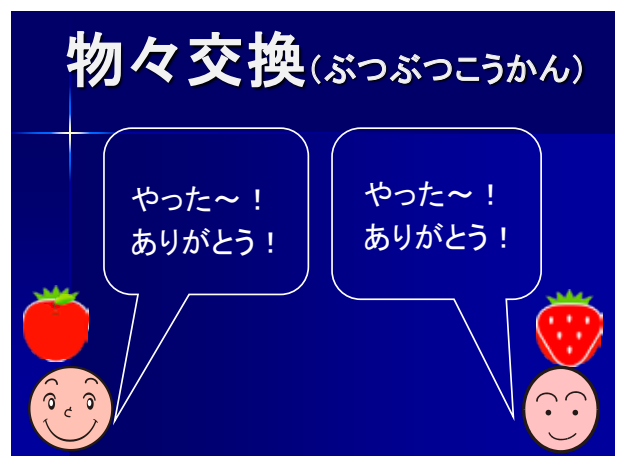
21



22





23





24

## ちょっと考えてみよう！


 にとって、  

 は、  
 何をするためのものだったの  
 でしょうか？

25

## ちょっと考えてみよう！


 にとって、
 は、

- ・こうかんするためのもの。
- ・りんごをもらうためのもの。
- ・一度こうかんしておいたから早く見  
つかった。
- ・ほしいものにたどりつくようにこう  
かんする。

26

## みんながほしがる物と 交換しておく。

27

## みんながほしがる物と 交換しておく。



どうして、ほしがったのかな？

(出所) 日本銀行「にちぎん☆キッズ」

28


## 仲間分けをして考えよう！



どうして、ほしがったのかな？

29


## 仲間分けをして考えよう！



どうして、ほしがったのかな？

30

### 仲間分けをして考えよう！




- ・生きるためにひつよう
- ・くさりにくい ⇒ 長持ちする
- ・育てられる ⇒ 計画できる

どうして、ほしがったのかな？

31

### どんな、石や貝をほしがったの？




- × 生きるためにひつよう
- くさりにくい ⇒ 長持ちする
- △ 育てられる
- ⇒ 計画できる

どうして、ほしがったのかな？

32

### 「使う」ためから「こうかんする」ためへ



- ・くさらない ⇒ 長持ちする
- ・とるのがそんなにむずかしくない
- ・めずらしい ⇒ 価値がある

どうして、ほしがったのかな？

33

### 「使う」ためから「こうかんする」ためへ




食べ物 → 物 → 今のお金

- ・長持ちする
- ・価値がある(食べる⇒めずらしい)

34

### (交換するものとしての) 石や貝の問題点は 何だと思いますか？



35

### 「使う」ためから「こうかんする」ためへ



食べ物 → 物 → 今のお金

- ・長持ちする
- ・価値がある(食べる⇒めずらしい)

36

(出所) 日本銀行貨幣博物館所蔵

金貨(きんか)

銀貨(ぎんか)

銅貨(どうか)




37

金貨(きんか) 銀貨(ぎんか) 銅貨(どうか)

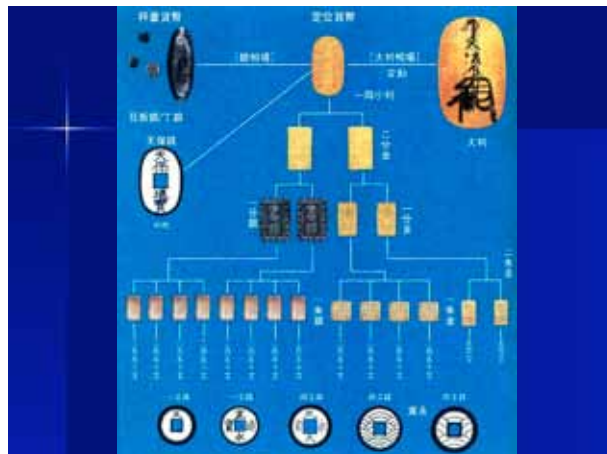
【よいところ】

- ・長持ちする
- ・めずらしいが、たくさんとることもできる
- ・同じ物を作りやすい  
(ねつでとけて、ひやすとかたまる)

⇒どれだけのものと交換すればいいか、わかりやすい  
(交換するための価値がわかりやすい)



38



(出所) 日本貨幣商協同組合「徳川幕府の貨幣制度」  
『日本貨幣カタログ2011』、2010年11月

39

「使う」ためから「こうかんする」ためへ


食べ物 → 物

・長持ちする・価値がある(食べる⇒めずらしい)

今のお金

40

金貨・銀貨・銅貨の問題点は何だと思えますか？



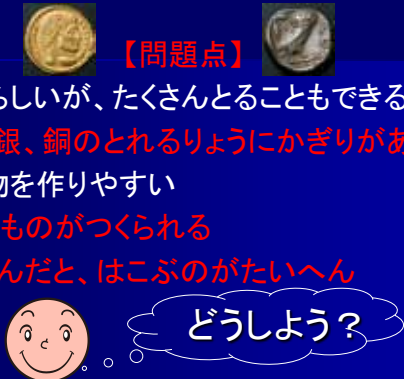
41

金貨(きんか) 銀貨(ぎんか) 銅貨(どうか)

【問題点】

- ・めずらしいが、たくさんとることもできる  
⇒金、銀、銅のとれるりょうにかぎりがある
- ・同じ物を作りやすい  
⇒にせものがつくられる
- ・たくさんだと、はこぶのがたいへん

どうしよう？



42

「使う」ためから「こうかんする」ためへ

食べ物 → 物

・長持ちする・価値がある(食べる⇒めずらしい)

→ 今のお金

43

今の「お金」の  
いいところは？

44

今の「お金」のいいところ  
の問題点

- ・金、銀、銅のとれるりょうにかぎりがある
- ・にせものがつくられる
- ・たくさんだと、はこぶのがたいへん
- ・長持ちする・交換するための価値がわかる
- ・紙のお金をつくれた⇒紙幣(しへい)
- ・にせものをつくりにくくした

お金をつくる場所を決めた(国立印刷局・造幣局)

45

ちょっと考えてみよう！  
今のお金にはどんな価値があるの？

46

「使う」ためから「こうかんする」ためへ

食べ物 → 物

・長持ちする・価値がある(食べる⇒めずらしい)

→ 今のお金

47

ちょっと考えてみよう！  
今のお金にはどんな価値があるの？

- ・交換するためにしか使えない。  
⇒ほかの使い道がない？
- \*「買う」には、「交換する」という意味がある
- ・「お金」をつくるのにかかるお金は？  
紙幣(しへい)⇒やく15円～20円

今のお金に価値はない？  
信用(しんよう)でささえられている

48




今の「お金」に問題点はあると思いますか？



49

今の「お金」の問題点




- ・つるりょうのちょうせつがむずかしい
- ⇒少なすぎると、交換がうまくできない
- ⇒多すぎると、お金の信用がなくなる

50

ドイツの世界恐慌  
(著作権との関係で表示省略)

51

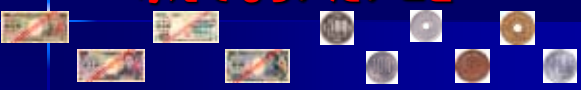
今の「お金」の問題点



- ・つるりょうのちょうせつがむずかしい
- ⇒少なすぎると、交換がうまくできない
- ⇒多すぎると、お金の信用がなくなる
- ・国どうしてのお金の交換の問題
- ・それでも、にせものをつくる人がいる
- など、いろいろとある…どうする…？
- 😊 考えつづけるしかない！！

52

3年1組のみんなに  
考えてもらいたいこと



- ・お金があれば、なんでもできる？  
なんでも手に入る？
- ・ねたん(金がかくってなんですか？  
⇒交換のための価値、大切な情報  
(使うための価値)

53

「お金のやくわり」って、  
何ですか？



54

## 物々交換(ぶつぶつこうかん)の ヒント！ 問題点

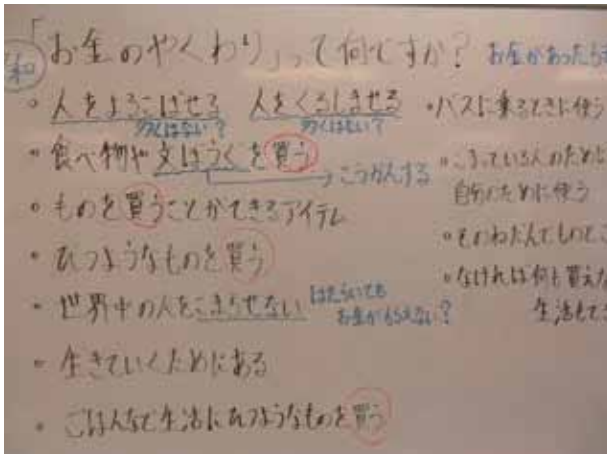
- ①交換できる相手がなかなか見つからない。
- ②交換するものの価値の問題。
- ③交換するものがくさってしまう。

55

## お金のやくわり

- ①交換できる相手がなかなか見つからない。  
⇒交換をたすける
- ②交換するものの価値の問題。  
⇒(交換するための)価値をわかりやすくする
- ③交換するものがくさってしまう。  
⇒(交換するための)価値をためる

56



57

## 「仕事」と「お金」には、 どんなつながりがある のかな？

58

大むかし、物々交換もしていなかったときには、どんな仕事があったのかな？  
⇒自給自足(じきゅうじそく)  
物々交換がはじめてからは、どうなったのかな？  
⇒分業(ぶんぎょう)やくわりぶんたん  
「お金」のおかげで交換がやりやすくなった  
今の仕事は？  
**さあ、みんなで考えよう！**

背景：縄文時代の想像図  
(著作権との関係で表示省略)

59

## 今は、どんな仕事 がありますか？

60



〈出所〉

- ・日本貨幣商協同組合「徳川幕府の貨幣制度」『日本貨幣カタログ2011』、2010年11月
- ・日本銀行「にちぎん☆キッズ」  
URL <http://www.boj.or.jp/z/kids/index.html>
- ・日本銀行金融研究所貨幣博物館『新版 貨幣博物館』  
URL <http://www.imes.boj.or.jp/cm/collection/tenjizuroku/>
- ・ネットショップに使える無料イラスト素材集「ダイヤモンド」  
URL <http://netshop-illustration.com/jewel/jewel-dl-02.html>
- ・幼稚園児のイラスト・絵カード「女の子」  
URL <http://illustration-card.livedoor.biz/archives/1886165.html>